



販路拡大のために福岡へ進出

長崎市宿町に長崎ちゃんめん(のちのリンガーハット)の第1号店がオープンしたのは1974年のこと。赤いとんがり屋根の外観デザインは、リンガーハットのシンボルとなりました。当時珍しかったオープンキッチンと独自に開発したスープが人気となり、長崎、諫早、大村など11店舗を展開するまでになりました。「最初の地域で11店を出店したら、次の地に展開する」という渥美俊一先生(チェーンストア理論の第一人者)の教えから、12店舗目は福岡に出店することを決め、新たな地域への出店を機に、店名を「リンガーハット」に変更することに。リンガーハットというのは幕末の長崎で貿易商として活躍したイギリス人のフレデリック・リンガー氏にあやかっただけのもので、「リンガーさんの小さな家」という意味です。名づけ親は創業者の米濱豪で、当時としては、斬新でハイカラな名前だったと思います。順調に多店化を進めていた矢先、1976年、社長の豪が肝臓がんで亡くなります。その後、豪の弟で専務だった和英が後を継いで社長に、鉦二が副社長に就任、二人が共同で会社を経営しながら、1977年に新商勢圏の福岡エリアに第1号店をオープン。この時初めて「リンガーハット」という店名が登場したのです。



1977年当時のリンガーハット二日市店(福岡第1号店)



株式会社リンガーハット

証券コード:8200

株主・投資家の皆さまへ

リンガーハット 通信

第57期

2020年3月1日 ▶ 2021年2月28日

オンラインショップ

リンガーハットグループ
長崎卓袱浜勝の味を
全国へお届けしています。

リンガーハットオンラインショップ 検索
<https://www.rhk-shopping.jp/>

お問い合わせ
リンガーハットコールセンター
☎ 0120-307-490
【受付時間】 平日 9:00~17:00



TOP INTERVIEW

2022年度に迎える
創業60周年に向けて、
全員参加で前進します！



株式会社リンガーハット

東京都品川区大崎 1-6-1 TOC 大崎ビル 14F 〒141-0032
www.ringerhut.co.jp



どんかつ
濱かつ
HAMAKATSU



長崎ちゃんめん
HAMAKATSU



Ringer Foods



R H D



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。





株式会社リンガーハット
代表取締役社長兼CEO

佐々野 諸延

株式会社リンガーハット
名誉会長

米濱 和英

2020年度の業績の振り返りを お願いします。

100年に一度の大災害と言われる新型コロナウイルス感染症拡大は、当社の業績にも甚大な影響をもたらしました。緊急事態宣言発出による外出自粛で「長崎ちゃんぽんリンガーハット」と「とんかつ濱かつ」では一時休業や時短営業を余儀なくされました。感染症拡大の長期化で既存店の客数低迷は2020年度を通して続き、業績回復が見込めない128店を退店するという創業以来初めての厳しい状況となりました。

退店する店舗に勤務していたパート・アルバイトスタッフ約2,400名には、引き続き近隣の店舗で勤務してもらうよう働きかけました。その内、約600名は近隣店舗で継続して勤務いただいておりますが、多くのス



タッフの雇用を守ることができず、経営者としての責任も感じています。

2021年2月期連結累計期間の売上高は340億49百万円（前年同期比28.0%減）と大幅な減収となり、営業損失は

54億3百万円、経常損失は55億61百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は87億46百万円となりました。この結果を踏まえて2020年度の株主配当については、中間期に続いて通期も無配とせざるを得ませんでした。株主の皆さまには本当に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

事業展開の取り組みについて。

コロナ禍の長期化を見据えて早い段階から資金手当を万全にするとともに、緊急事態宣言解除後の5月には会長から「生き残る」と題した社内メッセージを配信。企業存続のため、過去にとらわれずあらゆる対策を

とっていく考えを社員と共有しました。

需要が高まるテイクアウトについては、テイクアウト専用メニューや新たな容器の開発、モバイルオーダーサービスの導入などを進めました。さらにリンガーハットでは、購入後40分たってもものびにくい麺を開発しています。これらの結果、当初は5%だったテイクアウトの売上げ比率が20%まで高まりました。目標の40%に向け、さらに取り組みを強化していきます。

景気低迷により消費者の低価格志向が強まるという見通しのもと、リンガーハットではお値打ち価格のセットメニューを導入する一方、「とくちゃんぽんシリーズ」をはじめ魅力ある期間限定メニューを790～890円の価格帯で導入。客単価確保と新しいメニューミックスの確立に取り組みました。また、リンガーハットの一部店舗で濱かつの定食メニューを提供するという試みも行っています。コロナ禍で外食する機会が限られるなか、ちゃんぽんととんかつを1店で楽しめるスタイルが好評をいただいております、客層と利用動機の拡大にもつながっています。

コロナ禍で需要が拡大しているのが冷凍食品であり、リンガーフーズの外販事業は2020年度に大きく売上高を伸ばしました。スーパーマーケットなどへの卸売の他、外部サイトも含めたネット販売にも注力し、早期に売上高50億円の達成を目指しています。

人財・組織面での改革について。

当社は「人こそ最重要の財産」と考え、従業員満足度の向上に継続して取り組んできました。第三者機関の調査では、従業員満足度は全社で87%という高い数字を維持しています。従業員満足度の向上は顧客満足度向上にもつながると考えており、その結果として、公益財団法人日本生産性本部サービス産業生産性協議会が実施する2020年度「JCSI（日本版顧客満足度指数）」第4回調査の飲食部門ファストフード店カテゴリーで、リンガーハットが4年連続で顧客満足度第1位に選ばれました。これは、大変な栄誉と感じています。

これから厳しい経営環境のなかで企業存続と成長を図るためには、これまで以上に従業員を大切にしながら、その能力を最大限に引き出し、かつ高めていく必要があると考えています。

これまでも、現場スタッフ主導で作業の改善点を考

える「月例会」や、そこでの成功事例を店舗マニュアルの「リングラム」に提案できる「提案制度」を導入してきました。それらが定着し、具体的な成果も出ています。今回のコロナ禍でも、パート・アルバイトスタッフがテイクアウト商品の新しい陳列方法を提案し、それが売上増につながったという例がありました。今後も、従業員一人ひとりの潜在能力を引き出すとともに、それを正しく評価する仕組みを確立していきます。



2021年度の見通しと 今後の方針について。

2021年度は何がなんでも黒字化を実現することが最低限の目標です。そのためには売上高確保と同時に、これまで以上に生産性を高めていく必要があります。AIの積極活用などデジタルトランスフォーメーションを推進し、工場ラインの自動化や自動発注システムの導入を進めるとともに、本社の事務作業に至るまで社内のさまざまな作業を省力化していきます。

2019年度から運用を開始した品質保証制度は、工場と店舗、さらには建築や開発部門を含めた一貫通貫で取り組んでいます。当面の大きな課題は異物混入で、これを1ppm（100万件に1件）以下に抑えていきたいと考えています。食品メーカー並みの生産能力と品質保証体制を確立することが、2021年度の大テーマである冷凍食品の拡販のためにも重要です。

店舗展開については、コロナ禍でも郊外ロードサイドの店舗が比較的好調なことから、都心部及びフードコートからのリロケートを進めます。また、客席の間隔を空けて感染症防止対策を徹底し、テイクアウトコーナーを買いやすく配置したリンガーハットの新モデル店舗の開発を進めており、今夏をめどにオープンする予定です。外観デザインも一新し、“新生リンガーハット”を象徴するものにしたいと考えています。

株主の皆さまには多大なご心配とご迷惑をおかけしたにもかかわらず、多くの励ましのメッセージをいただき、心より感謝申し上げます。一刻も早い復配と、企業価値向上に向けて全社一丸で取り組んでまいりますので、今後ともリンガーハットグループへのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

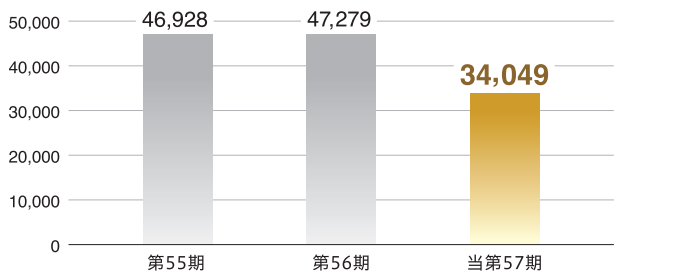
2022年度に迎える創業60周年に向けて、 全員参加で前進します！

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続くなか、2020年度は企業存続のためさまざまな取り組みを
実行する1年となりました。そこで得た成果は
リンガーハットグループのさらなる前進のための
大きなエネルギーになると確信しています。
過去にとらわれず事業構造の改革に取り組み、
創業60周年という大きな節目に向けて
これからも着実に歩みを進めてまいります。

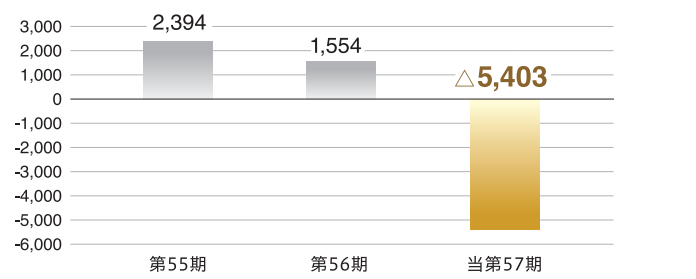
連結財務ハイライト

業績レポート (2020年3月1日～2021年2月28日)

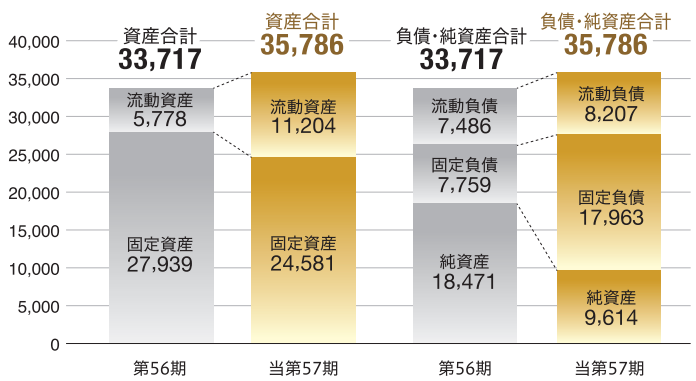
売上高 (単位: 百万円)
340億49百万円 前年同期比28.0%減



営業利益 (単位: 百万円)
△54億3百万円 前年同期は営業利益15億54百万円



連結貸借対照表 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

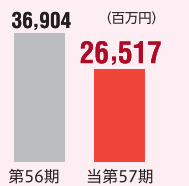
	第56期	当第57期	差 異
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,676	3,405	6,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,954	846	2,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,018	10,449	9,431
現金及び現金同等物の期首残高	1,431	2,208	777
現金及び現金同等物の期末残高	2,208	8,348	6,140

事業部門別概況 (2021年2月期)

長崎ちゃんぽん事業



売上高
26,517百万円 (前年同期比28.1%減)



長崎ちゃんぽんリンガーハットについては、コロナ禍の施策としてテイクアウト&デリバリーの販売強化やスマートフォンなどで事前注文・決済ができるモバイルオーダーサービスの導入などを実施しました。商品施策としては、春には「あさりたつぷりちゃんぽん」、夏には「冷やしちゃんぽん」と「トムヤムクンちゃんぽん」、秋冬には「かきちゃんぽん」を販売しました。また厳選した素材を使用した「とくちゃんぽんシリーズ」も販売しました。

9月には主要商品に使用している国産青ネギを国産インゲンに変更、また国産きくらげを有機JAS認証を取得したものに統一しました。

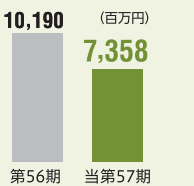
出退店につきましては、17店舗を出店し106店舗を退店した結果、国内で605店舗、海外で10店舗の計615店舗となりました。

以上の結果、売上高は265億17百万円(前年同期比28.1%減)、営業損失は47億34百万円(前年同期は営業利益10億62百万円)となりました。

とんかつ事業



売上高
7,358百万円 (前年同期比27.8%減)



とんかつ漬かつについては、コロナ禍の施策としてテイクアウト&デリバリーの販売強化やモバイルオーダーサービスの導入に加え、テイクアウト専用コーナーを設けた店舗の拡充に取り組みしました。

商品施策としては、春には「重ねかつシリーズ」2種類と「海鮮ふらい」、夏には「梅しそシリーズ」、秋冬には「牡蠣ふらい」を販売しました。

また、テイクアウト専用新メニューとして「かつ丼」や「エビフライ丼」など6種類の丼メニューや、取り分け不要で一人でも食べやすいサイズで詰め合わせた「お一人さま重」を販売しました。

出退店につきましては、22店舗を退店した結果、国内で87店舗※、海外で2店舗の計89店舗となりました。

以上の結果、売上高は73億58百万円(前年同期比27.8%減)、営業損失は7億57百万円(前年同期は営業利益2億72百万円)となりました。

※長崎卓袱浜勝、とんかつ大学含む

第58期の見通しについて

第58期の見通しにつきましては、国内でワクチン接種が進んでいるものの新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明であり、影響の長期化が想定されます。業績予想につきましては、既存店売上高は新型コロナウイルスの影響がなかった前期の水準に対して、長崎ちゃんぽん事業が△13%、とんかつ事業が△9%の影響が残るという前提で予算を設定いたしました。

この前提に基づいて試算した結果、翌連結会計年度は、売上高370億円、営業利益4億円、経常利益14億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億円を見込んでおります。

設備メンテナンス事業



売上高
1,936百万円 (前年同期比7.5%減)

設備メンテナンス事業については、退店に伴い当社グループ内における店舗の設備メンテナンスに関わる工事や機器保全が減少しましたが、展示会への出展や外部企業への営業活動に努め、西日本、関西圏への販路拡大を図りました。また、生命保険や損害保険の販売強化や、多種目販売に積極的に取り組んだ結果、売上高は19億36百万円(前年同期比7.5%減)、営業利益は1億27百万円(同44.5%減)となりました。



長崎ちゃんぽん事業・とんかつ事業の商品・販促施策一覧

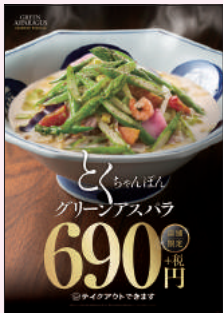


3月1日～
春限定メニュー
「あさりたっぷり
ちゃんぽん」を
期間限定で販売



4月23日～
冷たいとんこつスープの
「冷やしちゃんぽん」を期間限定で販売

6月
定食メニューも食べられる
特別店舗「リンガー食堂
首都高八潮PA店」を
八潮パーキングエリアに
オープン



7月
エリア別で
「とくちゃんぽん
グリーンアスパラ」
「とくちゃんぽん
北海道コーンバター
みそ」を期間限定で
販売



8月20日～
事前決済可能な
テイクアウト予約
「モバイルオーダーサービス」
対応店舗を順次拡大



8月26日～
いつでもランチ価格
お得なセットメニューの終日販売を開始



9月3日～
爽やかな風味が
食欲をそそる
「トムヤムクンちゃんぽん」
を期間限定で販売

9月1日
「国産きくらげ」を、すべて
有機JAS認証を取得したものに統一

9月20日
国産青ネギを
国産インゲンに変更



10月8日～
リンガーハット創業祭
「とくちゃんぽん
背脂とんこつ醤油」を
期間限定で販売



11月4日～
大粒の焼きがきと特製みその旨味
「かきちゃんぽん」を期間限定で販売



12月24日～
創業祭第二弾
「とくちゃんぽん麻婆茄子」を
期間限定で販売

2020年 3月

4月27日
ランドメニュー・
ランチメニューが
リニューアル。
「お得な990円+税
ランチ」登場！



6月



7月1日
テイクアウト専用のお得な
「井メニュー」6種類を
全店で販売開始



8月7日
濱かつテイクアウトの
モバイルオーダーサービス導入

9月



9月1日～
濱かつ創業祭
お得な1,000円メニューを
販売。テイクアウト専用の
セットご購入でチキンかつ
2枚増量のサービス券を
先着2,000名さまに配布

10月19日～
創業祭第二弾
「ロースと
ひれかつ膳」を
特別価格で販売



12月

2021年 2月



2月1日～3日
WEB予約限定
恵方巻を
数量限定で販売

とんかつ
濱かつ
HAMAKATSU

3月1日～
春の
「重ねかつシリーズ」
明太子・チーズを
期間限定で販売



6月1日～
爽やかな梅の味が
楽しめる
「梅しそシリーズ」を
期間限定で販売



10月1日～
広島県産牡蠣を
使用した
「牡蠣ふらい」
メニュー4種を
期間限定で販売



12月28日～1月3日
取り分け不要の1人前サイズ
濱かつ「お一人さま重」を
予約限定販売



2月1日～
極上の食感が楽しめる
「特上ヒレかつ膳」など
地域限定メニューをテスト販売

RHG News

安全・安心なおいしさのために 国産野菜をさらに深化させました

リンガーハットでは、9月に全店舗で使用している「国産きくらげ」を、すべて有機JAS認証を取得したものに統一しました。さらに、国産青ネギを長崎とゆかりのある国産インゲンに変更。彩りとおいしさはそのままに、より安全・安心・健康的で長崎らしさを深めた商品をご提供いたします。



定食メニューが食べられるリンガーハットの新特別店舗ができました

人気の長崎ちゃんぽん、皿うどんなどのメニューに加え、とんかつ漬かつのオランダかつ定食や長崎産アジフライ定食などの定食メニューが食べられる新特別店舗として、6月に「リンガー食堂 首都高八潮PA店」を、12月に「リンガーハット 八王子 石川店」をオープンしました。リンガーハットは、これからも幅広いお客さまのご要望にお応えいたします。



野菜のコクと旨味がアップ！ 冷凍商品をさらにおいしくリニューアル

リンガーフーズでは、2月に冷凍ちゃんぽんをはじめとした冷凍商品をリニューアルしました。国産青ネギを国産インゲンに変更して、シャキシャキ感をアップ。スープに野菜の旨味とコクを加えることで、さらに味わい深くおいしくなりました。リンガーハット店舗やオンラインショップ、スーパーマーケットの一部店舗で販売しています。



新しい生活様式に対応 テイクアウト強化の主な取り組み

ご家庭での食事機会が増えテイクアウトの需要が高まるなか、リンガーハットグループでは、ご家庭でもおいしくお店の味を召しあがっていただけるよう、さまざまな取り組みを行っています。リンガーハットでは現在10種類以上、とんかつ漬かつでは30種類以上のテイクアウト商品をお選びいただけます。



お持ち帰り専用 ちゃんぽんめんを新開発

原材料の配合を見直し、茹であがりの麺の硬さを約1.5倍にすることで、もちもち食感が長持ち。店舗よりも麺を太くすることで、時間がたってものびにくく、おいしいちゃんぽんが楽しめます。また麺とスープ・具材を分けてお渡しすることで、作りたてのおいしさを長持ちさせています。



とんかつ漬かつで テイクアウト限定メニューを販売

とんかつ漬かつでは、テイクアウト専用の新メニューを7月より販売。ジューシーなロースかつ丼をはじめ、とんかつやエビフライなどを使用した、全6種の丼メニューを、お店でのテイクアウトだけでなく、デリバリーやドライブスルーでもご提供しています。



スマホで簡単! テイクアウトできる モバイルオーダーサービスを導入

リンガーハット・とんかつ漬かつでは、スマートフォン等のモバイル端末で事前に商品を注文できる「テイクアウトのモバイルオーダーサービス」を8月より導入(一部店舗を除く)。店舗で待つことなく、希望の時間にできたての商品をお受取りいただけます。



デリバリー店舗・エリア拡大中

リンガーハット・とんかつ漬かつでは、「出前館」「Uber Eats」の宅配サービスを実施しています。今後は、新たなフードデリバリーサービスの導入や、対応店舗・エリアの順次拡大を行い、お客さまの利便性向上に努めてまいります。



会社概要 (2021年5月25日現在)

役員一覧



宮田正一 浅尾経一 鎌田武紀 山口雅彦 山岡雄二 杉野隆宏 古川輝久 川内辰雄 北原憲和
渡邊佳昭 山内信俊 植木知彦 福原扶美勇 米濱和英 佐々野諸延 小田昌広 川崎享 金子美智子

名 誉 会 長		米濱和英	
■ 取締役・監査役			
代表取締役社長兼CEO	佐々野 ^{さかえ} 諸延	執 行 役 員	杉野隆宏 川内辰雄 北原憲和
代表取締役専務	福原 ^{ふみお} 扶美勇	リンガーハットジャパン株式会社 代表取締役社長	福原扶美勇
常 務 取 締 役	小田昌広	浜勝株式会社 代表取締役社長	山岡雄二
社 外 取 締 役	川崎 ^{あつし} 享 金子美智子	リンガーハット開発株式会社 代表取締役社長	山口雅彦
常 勤 監 査 役	植木知彦	リンガーフーズ株式会社 代表取締役社長	鎌田武紀
社 外 監 査 役	山内信俊 渡邊佳昭	リンガーフーズ株式会社 執行役員	浅尾経一
		株式会社ミヤタ 代表取締役社長	宮田正一

会社概要

会 社 名	株式会社リンガーハット (RINGER HUT CO., LTD.)		
本 店 所 在 地	長崎県長崎市鍛冶屋町6-50		
グ ル ー プ 本 社	東京都品川区大崎1-6-1 T O C 大崎ビル14F		
創 業	1962年7月22日		
設 立	1970年6月13日		
資 本 金	9,002,762,834円		
主 要 事 業 内 容	長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」、とんかつ専門店「濱かつ」を主としたチェーン店及び、長崎郷土料理「長崎卓袱浜勝」の経営、食品・食品原材料の製造・加工並びに外販事業及び設備メンテナンスなどに関する事業		
従 業 員 数 (連結ベース)	(2021年2月28日現在) 正社員／584名 リンガーメイト・スター(パートタイマー・アルバイト)／約10,000名		
グ ル ー プ 店 舗 数	全704店舗(2021年2月28日現在) 北海道・東北地方… 19 中国・四国地方… 42 関東地方 …… 270 九州・沖縄地方… 228 中部地方 …… 65 海外 …… 12 近畿地方 …… 68		

株主メモ

事 業 年 度	毎年3月1日～翌年2月末日
期 末 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	2月末日
中 間 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	8月末日
定 時 株 主 総 会	毎年5月開催
株 主 名 簿 管 理 人 ・ 特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 【連絡窓口】 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711 (通話料無料) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所(第1部) 福岡証券取引所 ※証券コード8200
単 元 株 式 数	100株
公 告 方 法	電子公告によりこれを行います。但し、 電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告します。 ※電子公告掲載アドレス https://www.ringerhut.co.jp/

株式に関する手続きについて

株主さまの各種お手続きの窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご留意ください。

●特別口座に記録されている株主さま
当社の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL0120-232-711 (通話料無料)にお問い合わせください。

●証券会社等の口座に記録されている株主さま
お取引口座のある証券会社等にお問い合わせください。

但し、郵便物などの発送と返戻・支払い期間経過後の配当金に関するご照会、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ等は、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

株式の状況

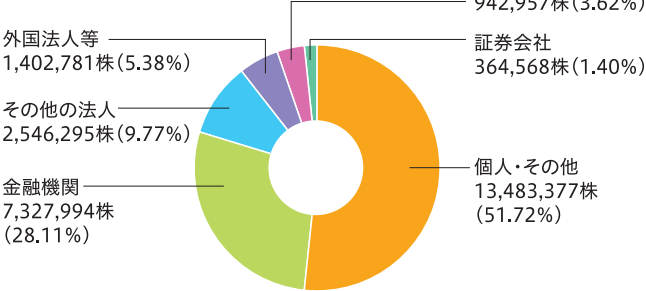
2021年2月28 日現在	
発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式総数	26,067,972株
株 主 数	38,273名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,068	4.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	743	2.96
株式会社十八親和銀行	655	2.61
第一生命保険株式会社	629	2.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (米濱・リンガーハット財団口)	600	2.39
公益財団法人米濱・リンガーハット財団	600	2.39
株式会社三菱UFJ銀行	535	2.13
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	383	1.53
アサヒビール株式会社	357	1.42
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	355	1.42

- 大株主の持株比率は自己株式(942,957株)を控除して計算し、表示しております。なお、株式付与型E S O P 信託導入に伴い、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与型E S O P 信託口)が保有する当社株式167,815株は、自己株式には含めておりません。
- 株式会社日本カストディ銀行の所有株式は、証券投資信託等の信託業務に係る株式であります。
- 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式は、証券投資信託等の信託業務に係る株式であります。
- 公益財団法人米濱・リンガーハット財団は、当社グループ創業家(ヨネハマホールディングス有限会社)と当社それぞれの拠出により、育英事業、文化・芸術・スポーツ等の発展普及推進事業を目的に、2015年9月に設立された公益財団法人であります。(詳しくは <https://yonehama-rh-found.or.jp/> でご覧いただけます。)
- 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(米濱・リンガーハット財団口)は、公益財団法人米濱・リンガーハット財団を受益者として設定した他益信託によるものです。

所有者別の状況



ホームページのご案内

当社ホームページでは、さまざまな情報を発信しております。

<https://www.ringerhut.co.jp/ir/>

IR情報

